



とよかわの

豊川市の観光資源を紹介します。

問合せ先 ● 市観光協会 89-2206

みつけた!



## 豊川稲荷の福德を授かる大黒天

日本三大稲荷のひとつといわれている豊川稲荷は、正式名を豊川閣妙巖寺といいます。多くの人は、稲荷といえばキツネを祭った神社であると想像されると思いますが、豊川稲荷で祭られているのは「豊川<sup>だまに</sup>吒<sup>に</sup>枳<sup>しん</sup>尼<sup>てん</sup>真天」です。豊川吒枳尼真天が稲穂をかつぎ、キツネにまたがっているところから豊川稲荷という通称が広がったといわれています。

豊川稲荷の奥の院の方に足を伸ばすと、土蔵造りの御堂があります。その御堂の前には、優しくさすってお願いをすれば、願いを聞き入れてくれるという2体の「大黒天」が立っています。さすってお願い事をすることから、「おさすり大黒天」とも呼ばれています。本堂や本殿で参拝した後に、大黒堂まで足を伸ばして、お願いごとをされてはいかがでしょうか。ただし、「よこしまな我欲を持って祈願する事なかれ」とされていますので、願い事には気を付けてください。

7月25日(日)、豊川駅周辺で、いなり楽市が午後3時から9時まで開催されます。当日は、特別に午後8時まで豊川稲荷を参拝することができます。夏の夕涼み、いなり楽市に出掛け、豊川稲荷を参拝し、大黒天に触れることで、豊川稲荷の福德を授かってみてはいかがでしょうか。

